

平成 19・20 年度 土木学会 複合構造委員会

第 3 回 議事録

1. 日 時：平成 20 年 6 月 27 日(金) 15:00～17:40
2. 場 所：土木学会 講堂
3. 出席者：園田顧問，中島委員長，横田副委員長，渡辺幹事長，伊藤委員，上田委員，上平委員，小林(朗)委員，小林(洋)委員，佐野委員，下村委員，滝本委員，橘委員，津吉委員(代理)，中村(俊)委員，西垣委員，野村委員(代理)，三ツ木委員，山田委員，吉田委員，大垣幹事，葛西幹事，島幹事，杉浦幹事，武知幹事，田中幹事，西崎幹事，溝江幹事，山口幹事，大山幹事
(敬称略，計 30 名)

4. 配布資料

- 資料3-1-1 平成19，20年度委員会名簿
- 資料3-1-2 平成19，20年度幹事会名簿
- 資料3-1-3 複合構造委員会組織図
- 資料3-2 第2回 複合構造委員会 議事録(案)
- 資料3-3-1 第5回 複合構造委員会 幹事会議事録
- 資料3-3-2 第6回 複合構造委員会 幹事会議事録
- 資料3-3-3 第7回 複合構造委員会 幹事会議事録(案)
- 資料3-4 平成19年度 決算報告
- 資料3-5 平成20年度 重点研究課題の審査・選考結果
- 資料3-6 平成20年度 予算案
- 資料3-6-1 調査研究拡充支援金の配分について
- 資料3-6-2 緊急財政への調査研究部門の対応
- 資料3-7 運営細則案
- 資料3-8 示方書小委員会
- 資料3-9-1 平成20年度 年次学術講演会／共通セッション関係
- 資料3-9-2 平成20年度 年次学術講演会／研究討論会関係
- 資料3-10 日韓台ジョイントセミナー関係
- 資料3-11 出版関係
- 資料3-12-1 複合構造物の性能照査指針小委員会
- 資料3-12-2 複合構造の現状調査小委員会
- 資料3-12-3 維持管理小委員会
- 資料3-12-4 新技術による複合技術小委員会
- 資料3-12-5 FRP複合橋梁小委員会
- 資料3-12-6 FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会
- 資料3-13 複合構造委員会評価関連資料

5. 議事次第

(1) 委員長挨拶 (資料 3-1-1～3-1-3)

中島委員長より挨拶がなされた。

引き続き、渡辺幹事長より、平成 19・20 年度委員会、幹事会名簿ならびに委員会・幹事会体制の確認がなされた。なお、今回の委員会より、配布する名簿は、個人情報保護の観点から、氏名、勤務先名称のみを記載している旨の説明がなされた。

(2) 第 2 回 議事録(案)の確認 (資料 3-2)

大山幹事より、2008 年 1 月 17 日(木)に開催された第 2 回 委員会議事録(案)の確認がなされ、承認された。

(3) 幹事会報告 (資料 3-3-1～3-3-3)

武知幹事ならびに溝江幹事より、第 5 回～第 7 回の幹事会議事録(第 7 回のみ、議事録(案))の報告がなされた。

(4) 平成 19 年度 委員会決算報告 (資料 3-4)

渡辺幹事長より、平成 19 年度 委員会の決算報告がなされた。平成 19 年度は、印刷費の出費が嵩み、最終的には、36,037 円の赤字となった。なお、赤字分は、『第 7 回 複合構造の活用に関するシンポジウム』の黒字額で補填を行った。

(5) 平成 20 年度 重点研究課題(研究助成金)の審査・選考結果 (資料 3-5)

中島委員長より、当委員会から応募した「複合構造標準示方書の作成」が、平成 20 年度 重点研究課題(研究助成金、助成額：60 万円)に採択された旨の報告がなされた(応募：19 件、採択：8 件)。

(6) 平成 20 年度 委員会予算 (資料 3-6)

渡辺幹事長より、平成 20 年度 委員会予算(案)について説明がなされた。平成 20 年度の予算総額は、2,056,000 円(調査研究費：1,200,000 円、調査研究拡充支援金：256,000 円、重点研究課題助成金：600,000 円)である。

なお、今年度の予算は、以下の要領に基づいて、配分が行われた。

- ・ 委員会の交通費を廃止した。
- ・ 平成 20 年度重点研究課題の助成金は、そのまま示方書小委員会に充てる。
- ・ 国際連携小委員会に日韓台ジョイントセミナー発表者の交通費を配分する。
- ・ 複合構造シンポジウム小委員会に建築学会との打ち合わせなどの準備費用として予算を充てる。
- ・ 幹事会およびその他の小委員会は、平成 19 年度予算と同額とする。

(7) 運営細則 (資料 3-7)

横田副委員長より、複合構造委員会運営細則ならびに成果の公表に関する申し合わせについて説明がなされ、一部修正の後、了承された。修正内容は、以下のとおりである。

<運営細則>

第 5 条 研究小委員会の運営

(2) 研究小委員会の区分

設置される小委員会の区分については、幹事会で検討する。⇒ 削除する。

<成果の公表に関する申し合わせ>

4. 第二種研究小委員会の成果として～<中略>～成果は、HP 上での公開あるいはシンポジウム等を開催して行う。 ⇒ HP 上あるいは講習会等により公開する。

(8) 示方書小委員会の設立 (資料 3-8)

上田複合構造標準示方書小委員会・委員長より、小委員会の活動について説明がなされた。活動予定は、以下のとおりである。

- ・2008年7月 小委員会審議開始
- ・2008年11月 外部の委員会への意見照会開始
- ・2009年内 脱稿
- ・2009年内 初稿の出版、講習会

なお、委員決定後、作業部会(元 性能照査指針小委員会委員)の委員も含めて、委嘱状を送付する予定である。

(9) 平成 20 年度 年次学術講演会 (資料 3-9-1～資料 3-9-2)

まず、武知幹事より、平成 20 年度 年次学術講演会共通セッション CS 2【複合構造物】へ 54 編(内訳：複合関連 40 編，FRP 関連 14 編)が投稿されたとの報告がなされた。つぎに、西崎幹事より、研究討論会(タイトル：FRP がつくる新たな複合構造)の主題、座長ならびに話題提供者について説明がなされた。

(10) 日韓台ジョイントセミナー (資料 3-10)

横田副委員長より、『第 3 回 複合構造に関する国際ジョイントセミナー(3rd International Joint Seminar on Hybrid Structures)』について、今回は、2008 年 11 月 21 日(金)の午前に『第 11 回 EASEC(East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction)』会議の一環として開催され、日本側から 3 件、韓国側から 3 件、台湾側から 1 件の発表が行われるとの説明がなされた。

(11) 出版関係 (資料 3-11)

武知幹事より、複合構造委員会の出版物販売状況として、売上部数、『複合構造物の性能照査指針(案)』が在庫処分対象書籍になり、さらに、当委員会より出版したシリーズ 3 冊、レポート 1 冊併せて、総額、約 6 万円の赤字である旨の報告がなされた。

(12) 小委員会活動報告 (資料 3-12-1～資料 3-12-6)

① 性能照査指針小委員会 (資料 3-12-1)

中村小委員長より、『複合構造標準示方書(案)』が回覧されるとともに、概要について報告がなされた。また、出版予定を平成 21 年 7 月に変更することが報告された。

② 複合構造物の現状調査小委員会 (資料 3-12-2)

伊藤小委員長より、複合構造レポート 02『最新複合構造の現状と分析』が回覧されるとともに、内容について報告がなされた。さらに、当小委員会終了後、『9A/9B 鋼・コンクリート複合構造の理論と設計』の改訂に向けて、新たな小委員会を設立して欲しい旨の依頼がなされた。

③ 新材料による複合技術研究小委員会 (資料 3-12-3)

上田小委員長より、複合構造レポート『各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価資料』の内容について報告がなされた。

④ 維持管理小委員会 (資料 3-12-4)

杉浦小委員長より、活動状況として、報告書目次(案)ならびに現在、順次、原稿の執筆を行っている旨の報告がなされた。

⑤ FRP 複合橋梁小委員会 (資料 3-12-5)

山田小委員長より、活動状況について報告がなされた。なお、広島県内の栈橋での FRP 適用に関しては、新たにメンバーを招集して、現在、議論中である。

⑤ FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会 (資料 3-12-6)

小林委員より、活動状況について報告がなされた。

(13) その他 (資料 3-13-1～資料 3-13-6)

- ・ 渡辺幹事長より、平成 21 年度から、調査研究委員会への予算配分の方針が変更された旨の説明がなされた。
- ・ 第 4 回委員会
日 時：2009 年 1 月 22 日(木)
場 所：土木学会

以上(記録・文責 大山 理)